



防災問題の「地尊」の「手」を「まめ」にして

防災まわづらり瓦版

発行の寺言問を防災のまちにする会

1989. 1. 1.

町内有線放送を合同に、防災訓練がスタート。ヘルメットや防災
ずきんなど身を固め、非常袋をもった人たちが次々と音問小に
集まってきた。市民消防隊の放水訓練などをおこなった後、路地
専への移動。二列に並び、30コのバケツを使い、市民バ
ケツリレー(写真)。さくらんぼ公園で消
火器使用訓練をして、最後はまいとんサ
ービス。とてもおいしいまいとんでした。
◀ 昭和63年10月30日付 産経新聞

大張り切り
意識一段と



10月30日 向島五丁目東町会

路地専と初の防災訓練

10月30日、向島五丁目で路地専を使った消火訓練がおこなわれました。
約100名の参加者が路上に並び、路地専にたまった雨水を手押
ポンプでくみ出して、バケツリレー。東京消防庁の人が「大変
参考になりました」と舌を巻くほどの手際良い訓練でした。
この日の路地専は、とてもたくましく見えました。



防災訓練副本部長
八百坪のおおしん
田畑金太郎さん



路地専、解説者として
FM東京に出演の
浅尾英一さん

若い人や子供は、「バケツリレー、2回
だろ?」「古めかしい」と思。2回た
らしいけれど、みんなバケツを手廻して
水をかけることを実際にやってみて、面
白がっていました。教えこむことも大切
だけど、楽しく体で覚えてもらうのも方
法だよ。

路地専の水をつかったバケツリレー
して、かれこれ50年前を思い出したら
今ではおばあちゃんと言われる人も「娘
時代を思い出して、娘の気持ちで訓練し
た」と喜んでいましたよ。町会婦人部の
炊き出したまいとんに舌つみを打ちな
から、若返、たみたいでイキイキしてい
ました。路地専のおかげで、いい思い出
になったし、初期消火に役立つし、心強
いできる。

町会の制服、白ひものヘルメット、白いゲーブルを巻いて、この日も浅尾さんは目立っていた(祐)



東京消防庁の人に説明する浅尾さん

基準
以下
以下
以下
以下
以下
以下
以下
以下

